



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 12月5日

これまでの取り組みと今後のスケジュール



7/13 8/25 9/16 12/1 12/21 12/25 3/4 8/19 9月-10月 12/24

プロデューサーの選定

ロゴマークの決定

博覧会推進本部が発足(国)

BIE総会(登録申請書の承認)

基本方針を閣議決定(国)

基本計画策定・公表(協会)

基本計画説明会

出展参加説明会

9月-10月
民間パビリオン出展募集

12/24
アクションプラン策定(国)

開幕時の姿を意識した準備に着手

IPMの開催・公式参加者用宿舎の確保
各国の参加
企業の参加
全国の機運盛り上げ

前売り入場券販売開始
パビリオン敷地引渡し・会場建設開始

4月13日~
10月13日

大阪・関西万博 開催



ロゴマークの決定
(アンバサダー 松本幸四郎氏)



基本計画公表

10月-3月

ドバイ博(登録博)



EXPO 2020 دبي
دبي الإمارات العربية المتحدة
DUBAI UNITED ARAB EMIRATES

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要①



● 役員構成：（2022年12月1日時点／敬称略）

会長（代表理事）	十倉 雅和	一般社団法人日本経済団体連合会会長
事務総長（代表理事）	石毛 博行	前独立行政法人日本貿易振興機構理事長
副会長（理事）	松本 正義	公益社団法人関西経済連合会会長
	生駒 京子	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
	※	神戸商工会議所会頭
	櫻田 謙悟	公益社団法人経済同友会代表幹事
	松井 一郎	大阪市長
	國部 毅	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 財務委員会委員長
	ウスビ・サコ	京都精華大学 前学長／全学研究機構長 人間環境デザインプログラム 教授 ※12月の社員総会で選任予定
理事	池坊 専好	華道家元池坊 次期家元、一般財団法人池坊華道会副理事長
	小川 理子	パナソニック ホールディングス株式会社 参与 関西渉外・万博推進担当（兼）テクニクスブランド事業担当
	ロバート キャンベル	早稲田大学 特命教授
	栗原 美津枝	公益社団法人経済同友会 副代表幹事、株式会社価値総合研究所 代表取締役会長
	佐野 真由子	京都大学大学院教育学研究科 教授
	高橋 政代	株式会社ビジョンケア 代表取締役社長
	武内 紀子	一般社団法人日本経済団体連合会 審議委員会副議長、株式会社コングレ 代表取締役社長
	寺田 千代乃	アート引越センター株式会社 名誉会長
	野崎 治子	国立大学法人京都大学 理事
	長谷川 眞理子	国立大学法人 総合研究大学院大学 学長
	廣瀬 恭子	大阪商工会議所 副会頭・女性会会長、株式会社広瀬製作所 代表取締役社長
	フォーリー 淳子	一般社団法人関西経済同友会 常任幹事、大同門株式会社 代表取締役社長
	福本 ともみ	サントリーホールディングス株式会社 顧問 CSRアンバサダー 公益財団法人サントリー芸術財団 専務理事
	御手洗 瑞子	株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役社長
	芳野 友子	日本労働組合総連合会 会長
副事務総長（理事）	高科 淳	前内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長
	東川 直正	前近畿地方整備局長
	竹内 廣行	前大阪府副知事
	櫛 真夏	前公益社団法人関西経済連合会常務理事
監事	小原 正敏	きっかわ法律事務所 代表弁護士 中務 裕之 中務公認会計士・税理士事務所所長、公認会計士・税理士



公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要②



【事務局組織図】

2019年1月30日
法人設立

2019年4月19日
万博特別措置法成立

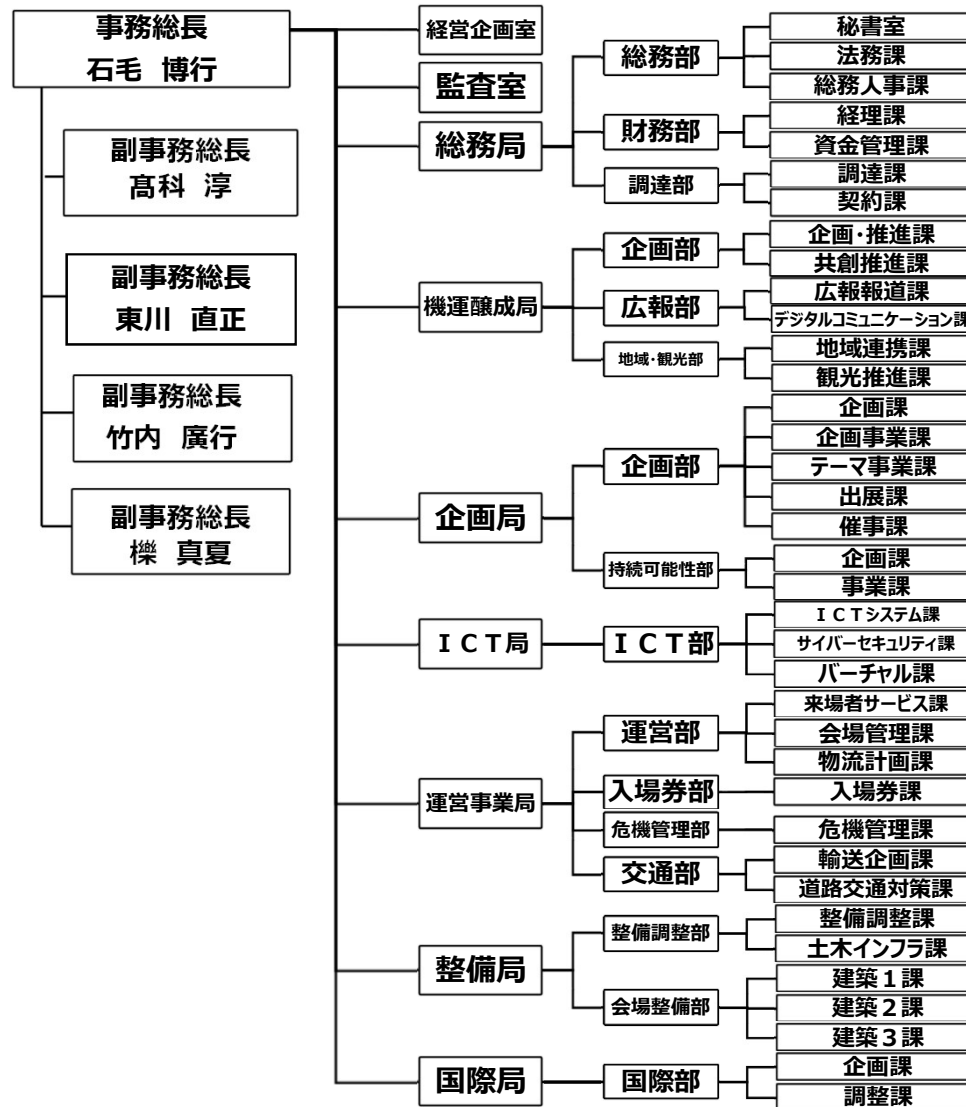
2019年5月31日
経済産業大臣が当協会を博覧会
業務を行う法人に指定

2019年10月21日
内閣府より公益認定を受け、
「公益社団法人」となる

●人員 (2022.12.1時点)

国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県

市・経済界等より職員を派遣 (500名)

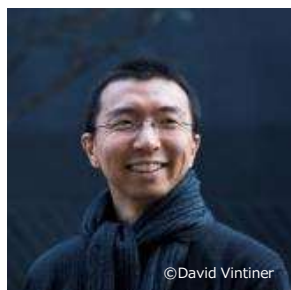


万博の主要な担い手 プロデューサー



会場デザイン プロデューサー

藤本 壮介
建築家



会場運営 プロデューサー

石川 勝
プランナー、プロデューサー



テーマ事業 プロデューサー

宮田 裕章
慶応義塾大学教授



「いのちを響き合わせる」

石黒 浩

大阪大学名誉教授、
ATR石黒浩特別研究所客員所長



「いのちを拡げる」

中島 さち子

音楽家、数学研究者、
STEAM教育家



「いのちを高める」

落合 陽一

メディアアーティスト



「いのちを磨く」

催事企画 プロデューサー

小橋 賢児

クリエイティブディレクター



福岡 伸一

生物学者、
青山学院大学教授



「いのちを知る」

河森 正治

アニメーション監督、
メカニックデザイナー



「いのちを育む」

小山 薫堂

放送作家、
京都芸術大学副学長



「いのちをつむぐ」

河瀬 直美

映画作家



「いのちを守る」



シニアアドバイザー

- 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置



安藤 忠雄
建築家

photo by 関野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホール
ディングス株式会
社代表取締役会長



桂 文枝
落語家

(五十音順・敬称略)



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



**ロバート
キャンベル**
早稲田大学特命教授



**コシノ
ジュンコ**
デザイナー



五神 真
東京大学大学院
理学系研究科
教授



ウスビ・サコ
京都精華大学 前学長/
全学研究機構長 人間環境
デザインプログラム 教授



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家



山極 壽一
総合地球環境学
研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要



- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

開催概要

名称 2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）

テーマ **いのち輝く未来社会のデザイン**

サブテーマ Saving Lives（いのちを救う）
Empowering Lives（いのちに力を与える）
Connecting Lives（いのちをつなぐ）

コンセプト **People's Living Lab（未来社会の実験場）**

会場 夢洲(ゆめしま)（大阪市此花区）

開催期間 2025年4月13日～10月13日

想定来場者数 約2,820万人



会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

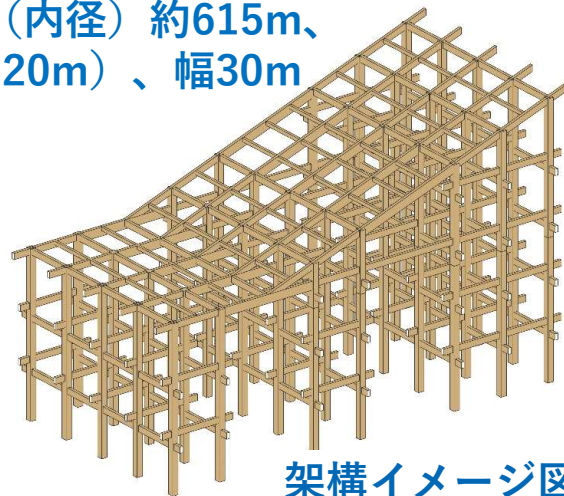
- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



会場デザイン② ～大屋根（リング）～



円周約2km、直径（内径）約615m、
高さ12m（外側は20m）、幅30m



架構イメージ図

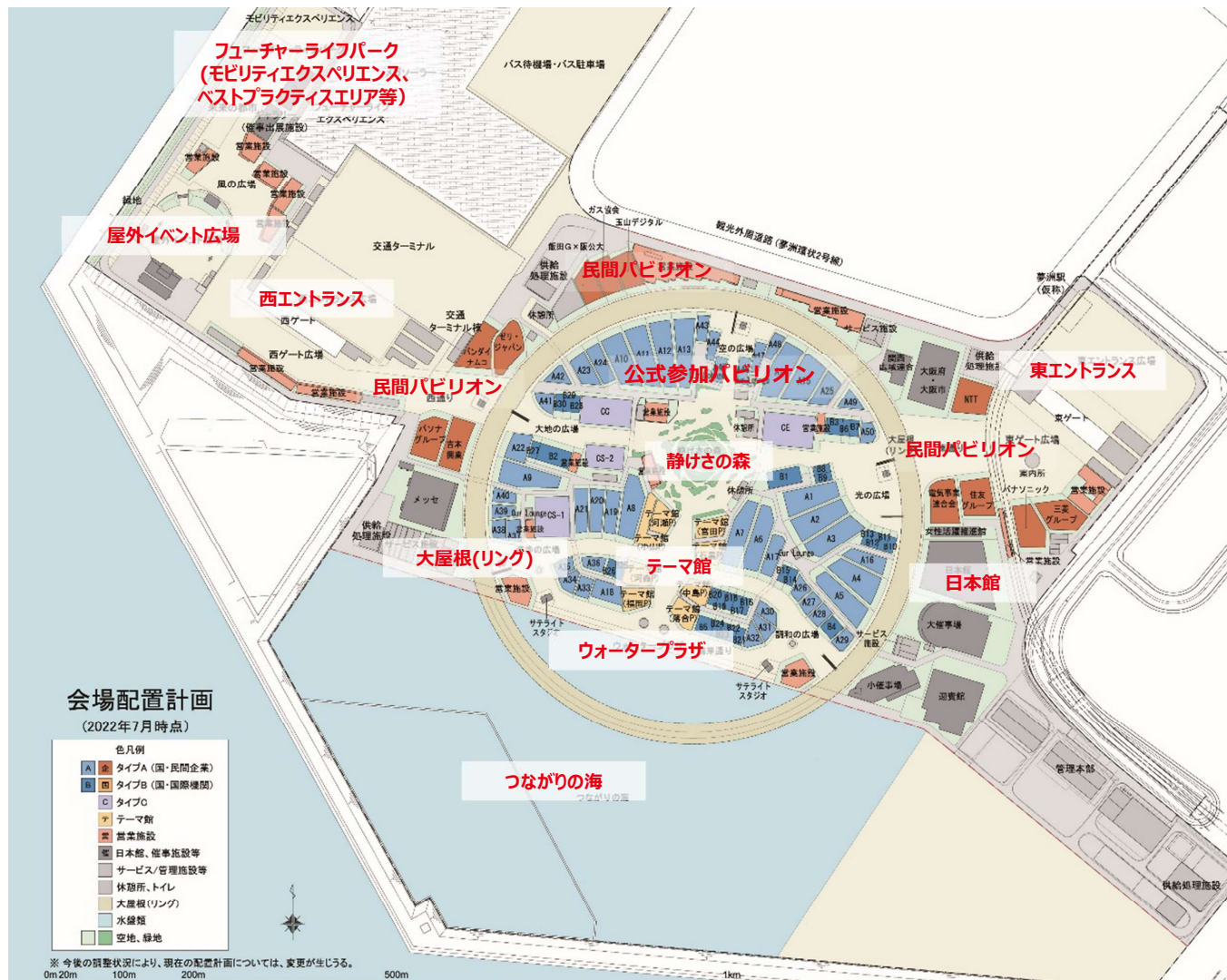
リング1F：グラウンドウォーク



リング2F：スカイウォーク



会場レイアウト ① (会場予定地 約155ha)



会場レイアウト② パビリオン




パビリオン凡例

- 公式参加パビリオン
- 企業（民間）パビリオン



公式参加パビリオン

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を選択	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例		SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組む
	個人の取組、自分自身の意識改革、啓発による気づき	コミュニティ、企業、政府、国、社会等による取組	
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食と生活 等	ライフサイエンス、労働環境の改善、貧困問題の解決、児童死亡率の低減 等	
Empowering Lives (いのちに力を与える)	自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び 等	遠隔教育、ライフ・ワークスタイル、産業高度化、エンジェル投資 等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を意識した行動、気候変動への適応 等	オンラインプラットフォーム、クラウド・ファンディング 等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す



企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展

万博のテーマに沿って自由な発想で
独自に企画・出展する参加

敷地面積約3,500㎡
募集終了
9区画

テーマ事業協賛

8名のプロデューサーが企画する
テーマ事業に協賛社として参加

資金
施設・物品・役務提供

未来社会ショーケース 事業出展

会場内で未来社会の実証・実装や
テーマを具現化する展示を行う参加

事業出展
資金・施設・物品・役務提供

会場整備参加 運営参加

施設・物品
・役務提供

TEAM EXPO 2025 参加

共創チャレンジ
共創パートナー

催事参加

資金・施設・物品
・役務提供

営業参加

営業施設出店
ライセンスビジネス

万博応援参加

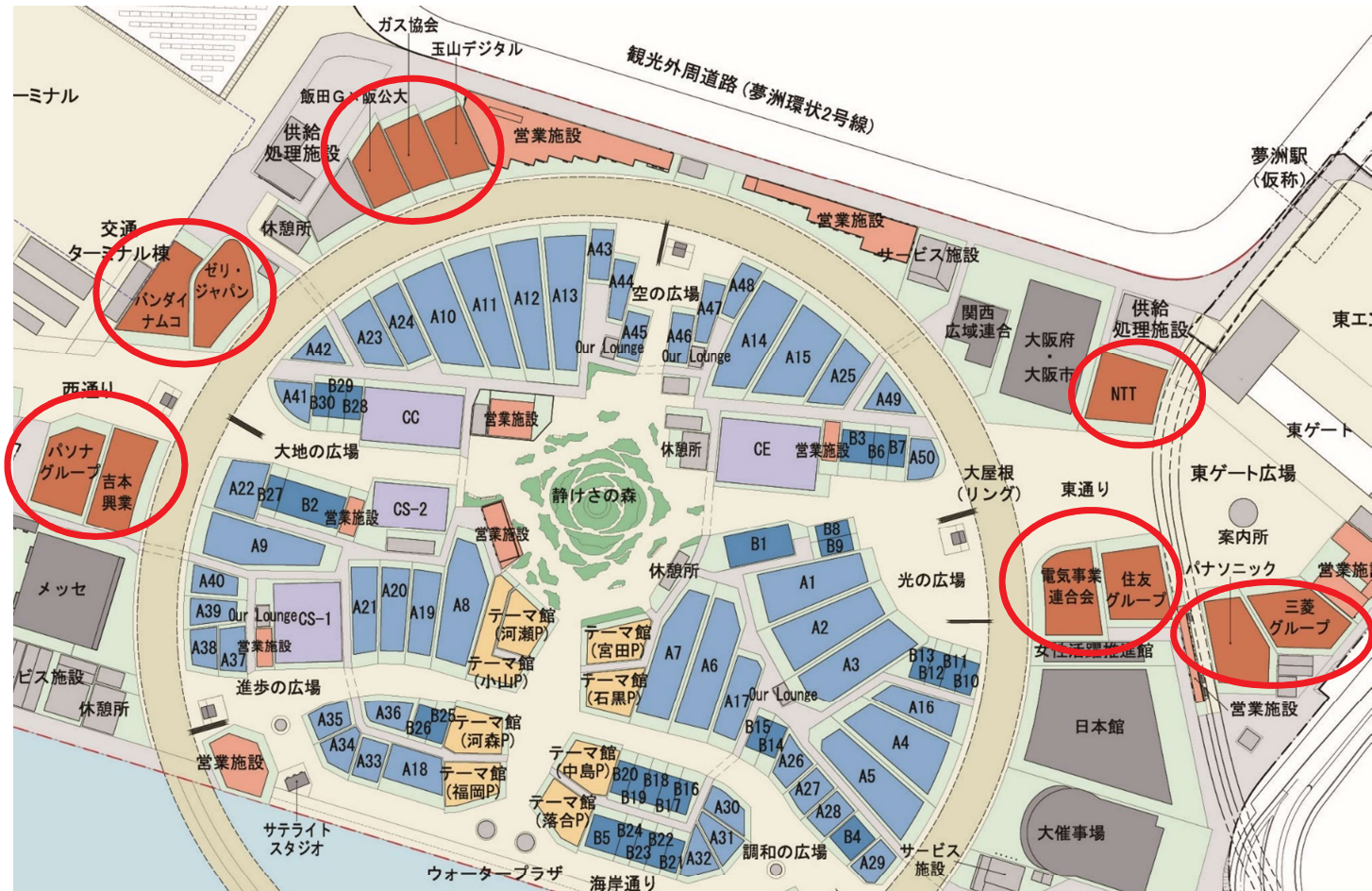
広報・プロモーション
寄附



民間パビリオン出展者が構想概要を発表(2022.5.30)

(五十音順)

- ・飯田グループホールディングス株式会社
- ・住友EXPO2025推進委員会
- ・特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン
- ・玉山デジタルテック株式会社
- ・電気事業連合会
- ・一般社団法人日本ガス協会
- ・日本電信電話株式会社
- ・株式会社バンダイナムコホールディングス
- ・株式会社パナソニックグループ
- ・パナソニックホールディングス株式会社
- ・三菱大阪・関西万博総合委員会
- ・吉本興業ホールディングス株式会社



テーマ事業の概要

テーマ事業名称

いのちの輝きプロジェクト

テーマ事業の構成

「いのちの輝き」を語り、深め、未来に残すことを象徴するパビリオンとイベントで構成する

シグネチャーパビリオン

～いのち輝くひろば～

8人のプロデューサーによる展示で
会場内最大級の領域型パビリオンを構成

シグネチャーイベント

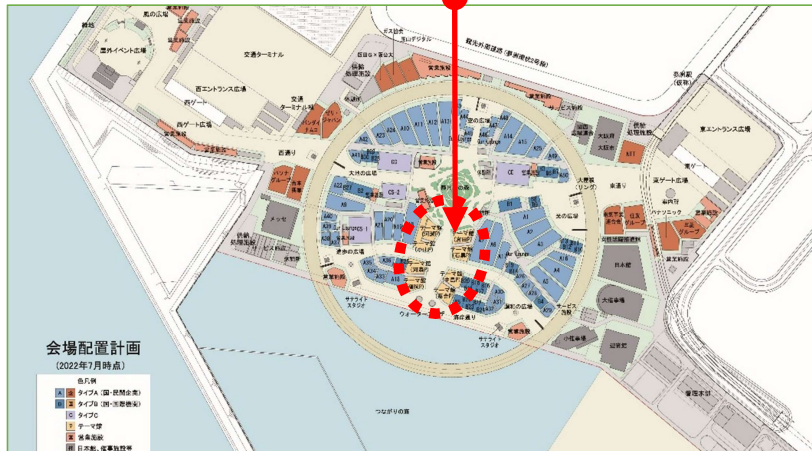
会場の内外でイベントを実施

※リアル会場での展開を基本にバーチャル会場、
スマート運営サービスでの展開を行います。

シグネチャーの意味

万博を象徴する特別な事業でありたいという思いを
「シグネチャー」という言葉に込めました。

そして、テーマ事業が、その特徴であるクリエイティブ・ドリブンによって、8人の
専門家が、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあります。



テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」のコンセプト・展示イメージ



<p>© LESLIE KEE</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちを守る</p> <p>プロデューサー 河瀬 直美</p> <p>いのちのあかし</p> <p>コンセプト</p> <p>わたしのなかのあなた、 あなたのなかのわたしに出会う場所</p> <p>展示イメージ</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちを響き合わせる</p> <p>プロデューサー 宮田 裕章</p> <p>Co-being</p> <p>コンセプト</p> <p>Better Co-being</p> <p>体験イメージ</p>	
	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちをつむぐ</p> <p>プロデューサー 小山 薫堂</p> <p>EARTH MART</p> <p>コンセプト</p> <p>「食」と「いのち」にまつわる当たり前を リセットし、ひとりひとりの行動を変える ヒントにあふれた市場</p> <p>体験イメージ</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちを広げる</p> <p>プロデューサー 石黒 浩</p> <p>いのちの未来</p> <p>コンセプト</p> <p>技術と融合することにより、 いのちの可能性を広げる</p> <p>体験イメージ</p>	
	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちを育む</p> <p>プロデューサー 河森 正治</p> <p>いのちめぐる冒険</p> <p>コンセプト</p> <p>今、ここに共に生きる奇跡</p> <p>体験イメージ</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちを高める</p> <p>プロデューサー 中島 さち子</p> <p>いのちの遊び場 クラゲ館</p> <p>コンセプト</p> <p>STEAM わくわく！を探す旅へ</p> <p>体験イメージ</p>	
	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちを知る</p> <p>プロデューサー 福岡 伸一</p> <p>いのち動的平衡 I am You</p> <p>コンセプト</p> <p>利己から利他へ</p> <p>体験イメージ</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">いのちを磨く</p> <p>プロデューサー 落合 陽一</p> <p>null²</p> <p>コンセプト</p> <p>デジタルヒューマンという新しい身体の写し鏡, 変形構造体建築による新しい風景の鏡, デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて 磨き輝く命の形を示す</p> <p>体験イメージ</p>	<p>© 蛸川実花</p>

大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を4月18日に発表



未来社会ショーケース事業の全体フレーム

未来社会ショーケース事業

未来社会ショーケース事業は、2025年より先の未来を感じさせる次世代技術・社会システムの実証と、2025年の万博にふさわしい先端技術・社会システムの実装の二つのレイヤーを念頭に実施を検討しています。

<p>① スマート モビリティ万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> 会場アクセスバス 会場内・外周バス 会場内パーソナルモビリティ ロボット（物流、清掃） 空飛ぶクルマ 等 	<p>④ アート万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> ウォータープラザスペクタクルショー 大屋根(リング)プロジェクションマッピング 静けさの森インスタレーション パブリックアート パレード&ストリートパフォーマンス 等
<p>② デジタル万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> 来場者エージェント、XR案内 自動翻訳システム 高速大容量通信環境 大型映像、サイネージ 等 	<p>⑤ グリーン万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> DAC+CCS、メタネーションガス 水素発電、純水素型燃料電池 アンモニア発電 CO2吸収路面素材 次世代太陽電池 帯水層蓄熱 等
<p>③ バーチャル万博</p>	<ul style="list-style-type: none"> バーチャル会場 XR演出 サイバー万博（仮称） 等 	<p>⑥ フューチャー ライフ万博</p> <p>フューチャーライフパークを拠点に、様々なアイデアを実装するインキュベーション型事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 未来の都市、住宅、環境、交通、文化（フューチャーライフパーク） 未来のヘルスケア（健康医療等データ活用、医療機器・福祉用具 等） 未来の食（フードテック、自動化、食文化 等） 未来への行動（TEAM EXPO 2025ベストプラクティス展示）

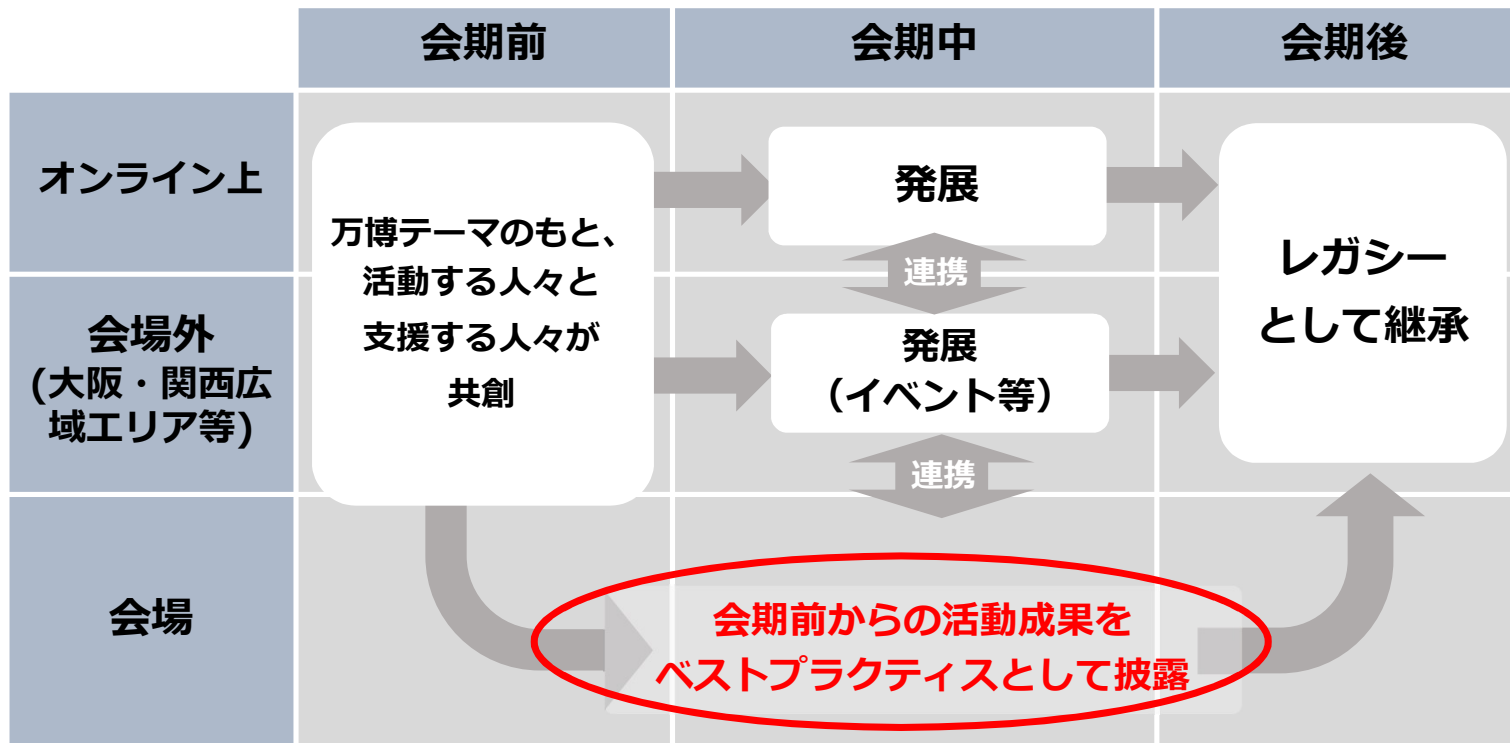
※ 現時点のものであり、今後変更することがあります。



「TEAM EXPO 2025」プログラムへの参加

- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、**多様な参加者が主体となり**、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す取組みの場所等を提供。

- 共創チャレンジ及び共創パートナー、 計1,015件登録（2022年10月末時点）



「TEAM EXPO 2025」プログラム ～具体的活動例～

共創チャレンジ

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

(活動例)

- 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- 主催者イベントを盛り上げる物品の提供等
- その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動

TEAM
EXPO
2025

共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体



人の支援 資金の支援 場・もの の支援 情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、
大学、国・自治体、社会起業家等

キーワード

SDGs Society5.0

共創（Co-Creation）

多様なセクターの参加



公式キャラクター ミyakumiyaku (MYAKU-MYAKU)

ミyakumiyaku (MYAKU-MYAKU)



【受賞者】グループ名：mountain mountain
(マウンテンマウンテン)
作者(代表者)：山下 浩平(やました こうへい)
生年：1971年生
職業：デザイナー・絵本作家

「ミyakumiyaku」について

細胞と水がひとつになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。赤い部分は「細胞」で、分けたり、増えたりする。青い部分は「清い水」で、流れる様に形を変えることができる。なりたい自分を探して、いろんな形に姿を変えているようで、人間をまねた姿が、今の姿。但し、姿を変えすぎて、元の形を忘れてしまうことがある。

外に出て、太陽の光をあびることが元気の源。雨の日も大好きで、雨を体に取り込むことが出来る。開幕前から自分のことを皆さんに知ってもらい、2025年に開催される大阪・関西万博で多くの人に会えることを夢見ています。

【出生地】関西のどこかにある小さな湧水地。

【性格】人懐っこいが、おっちょこちょいでよくポカをする。

【特技】色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。

【好きなこと】あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

【愛称コンセプト】

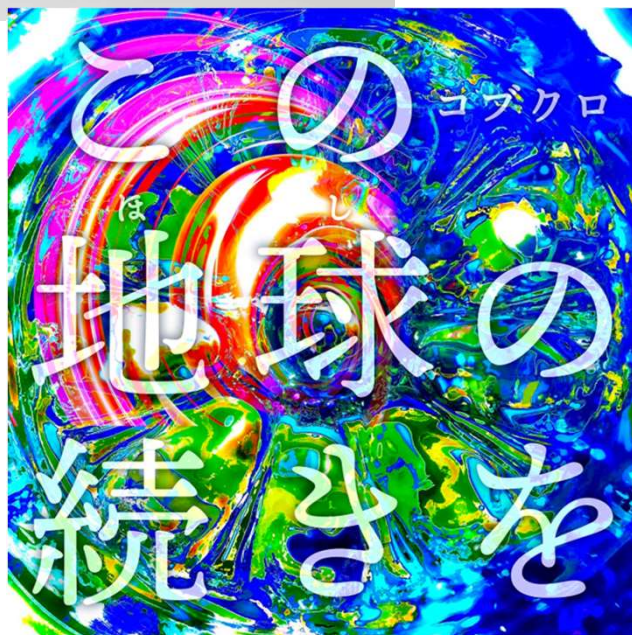
受賞者(川勝未悠さん 1984年生)

今まで「脈々」と受け継がれてきた私たち人間のDNA、知恵と技術、歴史や文化。変幻自在なキャラクターは更にあらゆる可能性をその身に宿して、私たち人間の素晴らしさをこれからも「脈々」と未来に受け継いでいってくれるはず。そんな希望を込めて「脈々=ミyakumiyaku」と名付けました。またミyakumiyaku=脈であり、生命そのもの。ミyakumiyakuという2音が続く様は、命が続いている音にも聞こえます。

受賞者(作田陽向さん 2002年生)

初めてキャラクターを見たとき、赤色と青色が動脈と静脈を連想させたため。また、万博のテーマである、人類文明のつながりや、国際的なつながりを、「脈」という言葉で表せられると思ったため。

オフィシャルテーマソング『この地球(ほし)の続きを』を発表(コブクロ)



コブクロ 『この地球(ほし)の続きを』
作詞・作曲／小淵健太郎・黒田俊介

このたび、大阪・関西万博初のオフィシャルテーマソングとして、アンバサダーのコブクロさんによる書き下ろしの新曲『この地球(ほし)の続きを』が完成しました。

7月18日（月・祝）にユニバーサル・スタジオ・ジャパンで開催した、大阪・関西万博開幕1000日前イベント「1000 Days to Go!」で初披露。

【オフィシャルテーマソング専用ページ】

<https://www.expo2025.or.jp/overview/themesong>

※万博の機運醸成につながる目的であれば無償でテーマソングをご使用いただけるよう、今後協会公式Webサイトで使用申請の受付を行う予定です。



アンバサダー・スペシャルサポーターの活用

“大阪・関西万博の顔”として万博の魅力を伝える「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」
“大阪・関西万博の応援団”としてその発信力を活かす「大阪・関西万博スペシャルサポーター」
これまで国内外での機運醸成活動（PR映像・イベント等）にご活躍いただいています。

アンバサダー

コブクロ (ミュージシャン)



佐渡 裕 (指揮者)



(五十音順・敬称略)

ダウタウン (タレント)



宝塚歌劇団 (エンターテインメント)



松本 幸四郎 (歌舞伎俳優)



山中 伸弥

(京都大学iPS細胞研究所 教授)



スペシャルサポーター

ポケモン (キャラクター)



ポリマ号 (世界最大級ソーラー船)
2022年3月就任 (NEW)



※スペシャルサポーターは今後も順次、就任予定

